



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 野村マイクロ・サイエンス株式会社
 コード番号 6254 URL <https://www.nomura-nms.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 八巻 由孝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三阪 雅登
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 046-228-5195

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	21,900	51.5	3,025	214.3	2,638	185.8	1,694	131.3
2020年3月期第3四半期	14,460	21.3	962	16.7	923	8.0	732	0.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,001百万円 (200.7%) 2020年3月期第3四半期 665百万円 (2.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	184.28	183.35
2020年3月期第3四半期	80.05	79.97

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	22,816	12,067	52.8	1,309.35
2020年3月期	19,622	10,314	52.6	1,123.61

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,044百万円 2020年3月期 10,312百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		33.00	33.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の1株当たり配当63円の内訳は、普通配当53円及び記念配当10円であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	47.3	3,900	111.2	3,514	97.3	2,390	87.7	260.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年3月期の連結業績における1株当たり当期純利益は、当第3四半期末の自己株式数をもとに算出した期中平均株式数より算出しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	10,152,000 株	2020年3月期	10,152,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2021年3月期3Q	953,160 株	2020年3月期	973,885 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	9,193,033 株	2020年3月期3Q	9,150,597 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(四半期連結損益計算書関係)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、底堅い公共投資、政府の需要喚起策により個人消費の一部に改善の兆しもありましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、民間設備投資、雇用情勢は弱含み、企業収益は大幅に減少し、秋口以降には感染拡大の第3波の兆候が見え始める等依然として厳しい状況が続いております。世界経済においても、経済活動の再開が段階的に進められ一部に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、米中貿易摩擦の長期化等依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの業績に影響を及ぼす半導体業界は、次世代通信規格5G、テレワーク、高性能パソコンやデータセンター関連需要に加えデジタルトランスフォーメーションの加速が追い風となり堅調に推移しております。

Semiconductor Equipment and Materials International (SEMI) が発表した2020年第3四半期の半導体製造装置販売額によると、中国、台湾、韓国、日本等アジア地域を中心に前年同期比増となり、世界全体の半導体製造装置販売額は前年同期比30%増の19,380百万ドルとなりました。また、FPD(フラットパネルディスプレイ)市場では、テレワークや在宅時間の増加等を背景に液晶パネル需要が高まりました。

このような状況下、当社グループは海外では半導体・FPD関連企業、国内では半導体・製薬関連企業を中心に積極的な営業活動を展開し、受注獲得に努めてまいりました。

これらの事業活動により、水処理装置については、国内、韓国、中国及び台湾の半導体関連企業から受注した超純水製造装置の工事が進捗したことに加え、韓国での大型水処理装置案件の受注等により売上高は15,645百万円(前年同期比91.3%増)となりました。また、メンテナンス及び消耗品については、国内の受注が堅調に推移したものの、米国での消耗品販売が減少したこと等により売上高は5,735百万円(同2.4%減)となりました。その他の事業については、配管材料の販売増加等により、売上高は520百万円(同26.9%増)となりました。

利益面については、水処理装置の売上増加と低採算案件が一巡したこと等により売上総利益率が1.0ポイント改善したことに加え、テレワークの実施等により販売費及び一般管理費が前年同期比で減少となったこと等により営業利益率が7.2ポイント改善いたしました。また、中華人民共和国貴州省錦屏県金源水務投資建設有限公司へ譲渡した子会社持分の支払いが遅延しており、回収までに時間を要する見通しであることから、当第3四半期決算にて貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上いたしました。また、経常利益以下の各段階利益で前年同期を上回りました。

以上の結果、受注高は19,536百万円(同26.6%増)、売上高は21,900百万円(同51.5%増)、営業利益は3,025百万円(同214.3%増)、経常利益は2,638百万円(同185.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,694百万円(同131.3%増)となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への大きな影響は見られませんでした。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べて3,194百万円増加し、22,816百万円となりました。これは主に、現金及び預金が4,373百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,441百万円増加し、10,749百万円となりました。これは主に、未払金が974百万円、未払法人税等が493百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

また、純資産については、前連結会計年度末に比べて1,752百万円増加し、12,067百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,391百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結及び個別業績予想につきましては、2020年10月26日に公表しました連結及び個別業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2021年2月12日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,845,011	9,218,517
受取手形及び売掛金	9,069,911	7,069,128
電子記録債権	390,185	786,512
商品及び製品	108,254	84,085
仕掛品	575,765	941,027
原材料及び貯蔵品	289,242	372,835
その他	1,569,151	1,765,614
貸倒引当金	△11,037	△369,319
流動資産合計	16,836,484	19,868,401
固定資産		
有形固定資産	1,770,861	1,767,420
無形固定資産	14,461	13,802
投資その他の資産	1,000,628	1,166,977
固定資産合計	2,785,951	2,948,199
資産合計	19,622,436	22,816,601
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,786,566	3,006,733
短期借入金	3,197,800	2,731,360
未払金	1,547,225	2,522,068
未払法人税等	297,746	791,581
製品保証引当金	65,958	68,000
工事損失引当金	277	57,078
賞与引当金	204,327	98,416
役員賞与引当金	9,355	30,406
資産除去債務	10,628	10,628
その他	655,203	987,670
流動負債合計	8,775,089	10,303,944
固定負債		
退職給付に係る負債	105,534	13,302
役員退職慰労引当金	248,475	268,624
その他	178,347	163,205
固定負債合計	532,356	445,132
負債合計	9,307,446	10,749,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,236,800	2,236,800
資本剰余金	2,080,882	2,103,822
利益剰余金	6,132,447	7,523,704
自己株式	△467,024	△457,180
株主資本合計	9,983,105	11,407,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,352	180,800
為替換算調整勘定	285,170	456,582
その他の包括利益累計額合計	329,522	637,383
新株予約権	2,362	22,994
純資産合計	10,314,990	12,067,524
負債純資産合計	19,622,436	22,816,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	14,460,539	21,900,691
売上原価	11,142,601	16,657,477
売上総利益	3,317,938	5,243,214
販売費及び一般管理費	2,355,471	2,217,719
営業利益	962,467	3,025,495
営業外収益		
受取利息	21,733	13,882
受取配当金	12,179	11,015
受取家賃	16,988	16,465
その他	7,132	4,613
営業外収益合計	58,033	45,977
営業外費用		
支払利息	33,182	25,413
為替差損	61,518	53,636
貸倒引当金繰入額	—	※ 351,647
その他	2,437	1,936
営業外費用合計	97,138	432,633
経常利益	923,362	2,638,839
特別利益		
固定資産売却益	263	1,612
新株予約権戻入益	—	1,687
特別利益合計	263	3,299
特別損失		
固定資産売却損	235	—
固定資産除却損	21	24,097
役員退職慰労金	2,300	—
特別損失合計	2,556	24,097
税金等調整前四半期純利益	921,068	2,618,041
法人税等	188,526	923,906
四半期純利益	732,542	1,694,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	732,542	1,694,134

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	732,542	1,694,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,863	136,448
為替換算調整勘定	△70,539	171,412
その他の包括利益合計	△66,675	307,860
四半期包括利益	665,866	2,001,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	665,866	2,001,995

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(退職給付制度の変更)

一部の連結子会社は、2020年6月26日付で退職一時金制度から確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度へ移行しております。これに伴い、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号2016年12月16日改正)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号2007年2月7日改正)を適用しております。本制度移行に伴い、損益に与える影響はありません。

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大は、世界的な規模で経済活動に影響を及ぼしておりますが、現時点で第4四半期以降における当社グループの活動への影響は軽微と判断して、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。この場合においては、第4四半期以降の連結財務諸表に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後更なる感染症拡大による経済活動の停滞等が生じた場合には、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 貸倒引当金繰入額

当社は、2018年11月27日付にて中華人民共和国貴州省錦屏県金源水務投資建設有限公司へ黔东南州凱創水資源環保科技工程有限公司の持分を譲渡いたしましたが、当該譲渡代金の支払いが遅延しており、回収までに時間を要する見通しです。従って、以上の状況を含めて回収可能性を勘案し、2020年12月末時点において貸倒引当金の計上が必要と見込まれる金額351百万円を貸倒引当金繰入額として営業外費用に計上いたしました。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,379,951	5,782,413	298,175	14,460,539	14,460,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,034,225	295,350	714	1,330,291	1,330,291
計	9,414,176	6,077,763	298,890	15,790,830	15,790,830
セグメント利益	453,611	427,670	81,185	962,467	962,467

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	アジア	アメリカ	計	
売上高					
外部顧客への売上高	14,113,166	7,736,884	50,641	21,900,691	21,900,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,125,217	551,470	—	1,676,687	1,676,687
計	15,238,383	8,288,354	50,641	23,577,379	23,577,379
セグメント利益又は損失(△)	2,313,420	715,745	△3,670	3,025,495	3,025,495

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。